

学校名	愛知教育大学	個人・ グループ名	明壁 利希哉	作品名	マスク収納
-----	--------	--------------	--------	-----	-------

○製作の動機、目的

コロナの状況下でマスクを毎日使うようになりました。私は車移動が多いため、車にマスクを箱で置いています。箱のまま置くのは見た目も悪く、さらに軽いため曲がる時やブレーキを掛けた際に動いてしまうときがあります。そのため、この問題を解決してくれるマスクケースを作成することにしました。

○利用方法

マスクを収納する。

○工夫した点

まず前提として、木材はすべて廃材を利用し、蝶番や釘も余っていたものを利用しました。



見た目は長方形の箱型です。車のスペースを取らないようにマスクぴったりのサイズにしました。

後ろには蝶番を付け、上に空くようにしました。車の足元の空いているスペース(運転席と助手席の間)に設置するため、上から取りだせるようにしました。



蓋に円形のひっかけを取り付け、開けやすいようにしました。

円形のひっかけは切断面を少し斜めにするることによって開け閉めの際につっかえないよう工夫しました。



蓋にはマグネットを取り付けることで以下のことを防止しました。1. 万が一転倒してしまった時に蓋が空いてしまうことを防ぐ。

2. がたがたな道で蓋が開閉するのを防ぐ。

また、マグネットを取り付ける場所を少し削ることで、蓋と本体の間に隙間ができないよう工夫しました。